

第1回洛西ニュータウン タウンミーティング

テーマ「洛西ニュータウン活性化に向けた若年・子育て世代の呼び込み」

日時：令和5年4月29日（土） 午前10時～正午

場所：洛西支所2階大会議室

参加者：48名

主なご意見（○：参加者からのご意見 ⇒：京都市からのご回答）

【洛西ニュータウンのすまいに関するご意見】

- 洛西ニュータウンには整備された街並みや、子ども達が安全に通学できる道路など多くの魅力がある。一方で、若年層に手の届く価格の住宅が少なく、住みたくても住めない方が多くいるのではないか。
- 洛西ニュータウンは現在住宅に特化したまちの構造・都市計画となっているが、事務所や店舗の需要もかなりあると感じる。まちの再編に向けて住宅以外の建物の誘導も必要ではないか。

⇒ 若年層に手の届く住宅については、本市でも課題として認識しており、若年・子育て世代の方に洛西ニュータウンに住んでいただく機会を逃しているのではないか、という危機感を持っている。「洛西ニュータウンまちづくりネットワーク会議」の議論でも、分譲マンションを誘致すべきではないかという意見もあり、洛西ニュータウンの良好な住環境を守るという前提の上で、実現可能な方法を検討したい。

向島ニュータウンでは、昨年度に都市計画の見直しを行ったが、洛西でも同様に地域住民の声を聴きながら、住むだけでなく働く場の創出などにつながる取組を進めたい。

【ニュータウン内の公園や各施設に関するご意見】

- 子どもが遊べる場所も重要。公園の遊具を新しくしていただき良くなったが、トイレが古く使いにくい。老朽化したトイレを再整備するなど目に見える形で改善すると子育て層にまちの変化を感じてもらえるのでは。

⇒ 例えば洛西竹林公園子どもの広場では、トイレを改修して好評を頂いているという実例がある。「洛西SAIKOプロジェクト推進本部会議」に公園を所管する部署も含まれているため、きちんとお伝えするとともに、竹の里公園にはインクルーシブ遊具を新たに設置しているように、どなたにも楽しんでいただける公園づくりにも取り組む。

- 市営住宅空き住戸解消のために、エレベーターを付ける必要があるのではないか。

⇒ 市営住宅のエレベーターについては、階段室型住棟の特性上、エレベーターを設置しても完全なバリアフリーにならず、費用対効果を鑑みると現実的ではないため行っていない。上階にお住まいの高齢者には、ご希望に応じて低層階に住み替えていただいている。

- 子育て世代の呼び込みのためには、ニュータウン内に少ない小児科や産婦人科などの

医療機関の充実が必要である。

- 子育て世帯の呼び込みも重要だが、福祉施設を整備するなど、高齢者や障害のある方、すべての人が暮らしやすいまちにしてほしい。
- ⇒ 人口が減少していく中で医療などの生活サービスをどう維持していくかは課題だが、生活サービスを低下させないためにも、各方面に働きかけるとともに、若年層を呼び込み、人口の維持などに取り組むことが重要と認識している。また、まちづくりの重要な要素である地域活動や福祉、交通などの課題について、できることから実行したい。

【交通に関するご意見】

- 洛西ニュータウンに地下鉄を通すべきではないか。新たな交通システムの検討状況はどうなっているのか。
- バスの均一運賃化やＩＣ化の促進など、交通利便性の向上に引き続き取り組んでほしい。
- ⇒ 新たな交通システムについては、進みつつある先進技術も見据え、民間事業者とも連携しながら検討を進めているが、大規模な構想であるため、実現に向けて時間がかかることはご理解いただきたい。
- バス便の利便性向上については、洛西地域を運行する４事業者とも協議しながら、早急に着手できるところから実行したい。

【学校跡地など公有地の地域まちづくりに資する活用に関するご意見】

- 芸大跡地や学校跡地の活用については、きちんと地域住民の声を聴きながら進めてほしい。
- 学校統合された後の西陵中学校には特養や福祉施設を建設するなど、高齢者福祉を手厚くしてほしい。
- 芸大跡地については、働く場所の創出やＬＲＴの操車場を建設するなど、洛西ニュータウンの活性化に資する活用方法を検討すべき。
- ⇒ 芸大跡地をはじめとする市有地について、地域住民のご意見も聴きながら、洛西地域のまちづくりに資する活用を引き続き検討する。

【情報発信やまちづくりへの参画等に関するご意見】

- これまでは、行政の方針があまり地域住民に伝わっていなかったように感じる。今回の洛西ＳＡＩＫＯプロジェクトでは、決まったことを迅速に地域住民に伝えてほしい。
- 若い世代に地域活動やまちづくりに関心を持ってもらうためには、紙媒体のニュースだけではなく、もっと様々な機会を通じて若い世代との交流・意見交換の場を持つ必要があるのではないかと。また、地域活動に若い世代の人がどうやって関わっていったらよいかわからない面もあるので、具体的な方法を示していただき、参加できるものがあればと思う。
- ⇒ 若い方に興味を持っていただくために、まちづくりニュースを引き続き発行するほか、ＳＮＳを利用した情報発信や、若い方が集まる場に直接伺って行政の取組を説明する機

会も設ける。

【その他のご意見】

- 「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」の実現こそが、まちをよくするために必要だが、アクションプログラム含め実現に至っていないと感じる。行政の本気度が足りなかったのではないかな。
- 最前線である公社の取組やサブセンター活性化なども重要。地域住民が安心して暮らせるとともに、ニュータウン外の人を呼び込めるような環境を作してほしい。
- 「洛西ニュータウンアクションプログラム」は80個もの取組項目があり、一定の成果を上げることはできたが、外部への効果的なPRや、「来て、見て、住んで」の実現には至らなかったのではないかな。取組テーマが多すぎて、周知しきれなかった面もある。今回はテーマが絞られており、今度こそ洛西ニュータウンの再生に向けて、行政も本気になって取り組んでほしい。
- 若い世代を呼び込むことはもちろん望ましいが、新しい居住者に対するまちづくりだけでなく、現在の居住者にとって住みよいまちづくり、という視点も大切にしてほしい。
- 学区ごとの人口動態の違いなど、地区ごとに異なる状況についてきちんと分析すべきではないかな。
- 地域防災の観点も盛り込んでほしい。
- 教育施設を運営する企業などを誘致して、教育にも力を入れやすい環境を整えるべき。
- 現在は竹の里地域の小学校区が分かれており、これを元の状態に戻してほしい。

お忙しい中ご参加ありがとうございました。
次回は6月17日（土）午前10時～正午に開催します。

